



深三だより

自主・自立 気品・誠実 気力・体力 社会貢献



ホームページ
QRコード

開校79年

江東区立深川第三中学校
(江東区越中島 3-7-1)

☎ (3641) 5948

発行人

校長 月田 行俊

令和8年7月号 No. 386

ホームページもご覧ください。 <https://fuka3-chu.koto.ed.jp/>

コンテンツ(contents)とコンセプト(concept)

コンテンツは、1990年代頃からインターネットなどのIT技術が急速に普及したことによって使用されるようになりました。コンテンツは、直訳すれば「内容」や「中身」という意味ですが、最近Webサイトで使われている意味としては、具体的な「情報の中身」を表し、その情報が重要視される傾向にあります。一方、コンセプトには概念・発想・構想などの意味があり、「終始一貫させる考え・構想」のことを言います。

「コンテンツ型学習」「コンセプト型学習」という学習スタイルで考えると、コンテンツは「事実・知識の暗記」で、コンセプトは「本質・原理の理解」となり、学びの深さや応用力に大きな違いが生まれます。

1 「水」に関わる学習

コンテンツ型	コンセプト型
水分子の化学式は H_2O であること、沸点は $100^{\circ}C$ 、融点は $0^{\circ}C$ であること、地球上の水の割合、三大洋の名前などを暗記する。	水が氷や水蒸気になる性質(状態変化)を理解し、それが地球全体の気候や生命維持にどう影響しているか(循環)を考える。

2 「織田信長」に関わる学習

コンテンツ型	コンセプト型
1575年に「長篠の戦い」があり、織田信長が武田勝頼を破ったという史実を覚える。「鉄砲の三段撃ち」という戦術の名前を暗記する。	新しい技術(鉄砲)が、当時の社会構造や戦術をどう変えたのか、現代のIT革命などにも通じる「技術がもたらす社会変化のパラダイム」として理解する。

3 「カレー作り(料理)」に関わる学習

コンテンツ型	コンセプト型
レシピ通りに「人参、玉ねぎ、肉を切り、○分煮込んでルーを○個入れる」という手順を覚えて実践する。 	「なぜ玉ねぎを飴色になるまで炒めるのか(水分を飛ばして甘みとコクを凝縮させるため)」という理由を理解する。 ⇒カレーだけでなくハヤシライスやスープなど、レシピがなくても他の料理に応用できるようになる。

4 「コンビニエンスストア」に関わる学習

コンテンツ型	コンセプト型
大手のコンビニチェーンの名前や、独自のヒット商品、店舗数を覚える。 	なぜ天候や時間帯によって棚に並ぶお弁当の種類が変わるのか(データに基づく需要予測)、なぜ現代人がスーパーではなく割高なコンビニを使うのかという消費者の行動心理を理解する。

5 「英語の過去形」に関わる学習

コンテンツ型	コンセプト型
play→played、go→wentのように、動詞の過去形の変化表を暗記する。yesterday(昨日)があったら過去形にするというルールを覚える。	英語の過去形の本質は「今この場所(現実)から離れている感覚」だと理解する。だからこそ、単なる過去の事実だけでなく、「もし〜ならなあ」という現実から離れた妄想や、相手と心理的距離を置いて丁寧に頼む表現にも同じ形が使われる理由が、一本の線でつながる。

< 2つの学びのスタイル比較 >

項目	コンテンツ型	コンセプト型
目指すゴール	「何(What)」を知っているか	「なぜ(Why)どのように(How)」動いているか
記憶の性質	丸暗記(忘れやすい)	本質的な理解(忘れにくく、応用が利く)
問いの例	長篠の戦いは何年?	新技術は社会をどう変える?
メリット	テストの穴埋め問題などに即効性がある	未知の課題に直面したとき、自分で考えて解決できる

コンテンツ型学習は、「知識のパーツを集める作業」であり、コンセプト型学習は、「パーツ同士を組み合わせるための設計図を理解する作業」です。どちらも大切ですが、変化の激しい現代においてより重要視されているのは、応用がきく「コンセプト型学習」です。

あなたの学習スタイルは、どちらに近いですか?